

令和2年度(2020年度)

(一財)熊本国際観光コンベンション協会

事業実績報告

令和3年4月作成

(一財)熊本国際観光コンベンション協会

MICE誘致・支援

(1) コンベンションの戦略的誘致

- ★会議開催地決定に権限を持つキーパーソンを招請(3団体/9名)

(2) 中小規模コンベンションの自発的開催促進

- ★ハイブリッド形式でのコンベンション体験会を開催(34団体57名)
⇒withコロナ期における新たなコンベンション開催方法として、ハイブリット開催が増加傾向にあるなかで、コンベンション開催を安全・安心に開催いただくために体験会を開催。
- ★くまもとMICEおもてなしプロジェクトミーティングの開催
⇒コンベンション開催時の経済波及効果の拡大と参加者へのおもてなし向上を目的に、コンベンション主催者や地元団体といった各ステークホルダーで構成されるプロジェクトチームを結成し、定期的に会議を開催。

(3) 情報連絡会議への参加

- ★JCCBビューロー部会への参加
- ★九推連総会及び九推連実務担当者会議への参加
- ★5都市会議への参加
⇒全国各ブロックのコンベンション推進団体が、連携、協調し相互に誘致情報の交換を行い振興を図る。

(4) 誘致活動(県外セールス⇒自粛)

- ★IME2021オンライン商談会に参加(バイヤーとの商談(11件商談))
- ★コンベンション開催事務局に対しDM発送(132団体)
⇒開催延期及び開催地変更が見込まれる首都圏を中心としたコンベンション事務局に対し、コンベンション開催ガイドブック等の情報を提供し当市での開催誘致につなげる
- ★情報収集

(5) 令和2年度 誘致決定案件

- ★4件、35,460人泊(1/12現在)

(6) 開催支援助成金

- ★コンベンション開催助成金交付 主な大会(全体実績:1,232千円/10件)

MICE誘致・支援

(7) 物的支援

★各種媒体の提供・配布

- ・グルメガイド「くまもとグルメBOOK」・協会会員の飲食店やお土産店、宿泊施設を紹介
- ・熊本市観光地図・会場施設や観光施設アクセス、宿泊施設等を紹介
- ・コンベンションバッグ・有償配布(100円/枚)

★大会歓迎看板等の設置・掲出

- ・JR熊本駅新幹線口、熊本空港、大会会場に歓迎看板を設置
- ・新たに歓迎エアポールを大会会場及びアーケード設置をメニュー化

★歓迎横断幕・歓迎のぼり貸出

- ・大会会場での歓迎横断幕及び歓迎のぼり貸出備品を新たに作成。

(8) 開催支援助成金の充実

★新型コロナウイルス感染症対策支援

⇒新型コロナウイルス感染症により2020年度の現地開催が中止され、かつ2022年度までに再度当市にて開催が決定し、2020年度中に当協会へ支援申込みのあったコンベンションに対し、特別加算を行った。また、2020年度に開催されたコンベンションに対しても同様の加算を行い、安心・安全なコンベンション開催を促進した。

(開催中止:78件 再開催:38件)

企画調査・事業

(1) コンベンション統計業務

★開催件数、参加数の状況を把握するとともに、開催予定の情報収集調査実施

⇒現在調査中

★コンベンション受入施設における新型コロナウイルス感染対策調査

⇒新型コロナウイルス感染症対策としての、設置備品及び貸出備品等対策取組の調査を実施。(35施設)

国内からの誘致促進

(1) 熊本市プレミアム宿泊クーポン

- ★新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく落ち込んだ観光需要の早期回復を目的として、熊本市内の宿泊施設で利用可能なクーポンを発行

(2) 植木温泉から感謝を込めて・・・ほんの気持ちです券

- ★植木温泉観光旅館組合が、『商店街等プレミアム付クーポン券発行支援事業』を活用し実施する事業の発行等事務を請け負い、植木地区の活性化と宿泊施設間の連携を強化するための事業を実施。

(3) 旅行商品造成セールス

- ★コロナ禍において現地セールスは中止

⇒熊本城特別公開第2弾延期、6月1日からの開催、コロナ禍における観光施設の開館情報などを随時発信し、熊本市観光の現状を説明

- ★熊本城入園クーポン券を発行し、熊本城とクーポン契約を行っていない旅行会社に販売することで 旅行商品造成を働きかけ

・HIS 旅する九州 HISオリジナル九州よかとこクーポン

⇒3/4 旅行会社向けオンライン観光素材説明会をyoutube配信で開催

(4) エージェントの招へい

⇒ 例年実施している国内の商品造成地区における企画担当者を招へいすることで、旅行商品造成を促進していた事業については実績がなかった

(5) 教育旅行の誘致

- ★ 熊本県教育旅行受入促進協議会との連携強化
昨年度、協議会と実施主体であるわくわく座・よかとこ案内人の会との調整を図り策定した「熊本地震から学ぶ教育旅行」を積極的に支援

- ★ 「熊本地震から学ぶ教育旅行」の予約状況
現在協会で受け付けている、教育旅行におけるボランティアガイド交通費負担事業に変わる新たなガイドの提案として、積極的に販売を推進

⇒従来のガイド交通費2,000円を協会が負担する事業から、「わくわく座への入館」「熊本地震での経験を現地の人から聞く」事業にシフトすることで、教育旅行としての価値を高め、滞在時間を延ばすと共に、わくわく座及びよかとこ案内人事務局の安定的な収益確保を支援する

- ★ 教育旅行セールス
コロナ禍において、直接的な現地セールスについては取りやめ。熊本県教育旅行受入促進協議会が実施するセールスの際に最新の情報を提供。

・11/18～20 福井市及び金沢市の教育旅行会社への長崎県合同セールス

- ★ 学校関係者・企画担当者の招へい

国内からの誘致促進

- ★ バス利用助成金
 - ⇒ 熊本市内宿泊を条件に、バス1台につき8千円を助成する制度
 - ⇒ コロナ禍において、鹿児島の小中学校が大幅に減少した半面、方面変更で関西の小中学校・高校など、人数が多い学校からの利用が見られた

- ★ 観光ボランティアガイド派遣
 - ⇒ 熊本市内での自主学習時に、観光ボランティアガイド交通費を助成し派遣する制度
 - ⇒ コロナ禍において、春季の予約が全て秋季に変更またはキャンセルとなった。また、バス助成同様方面変更により、鹿児島の小中学生が大幅に減り、関西の小中学校・高校などからの申込も多かった。
 - ⇒ 従来、ガイド1名で案内する生徒15名に対しガイド交通費1名分を協会が負担していたが、コロナ禍において、感染症対策のため、ガイド1名で生徒10名を案内する方法に変更。ガイド派遣人数を増員しソーシャルディスタンスを取った案内を実施。(協会負担はそのまま、差額は先方負担)

- ★ 資料配布
 - ⇒ 修学旅行の事前資料・当日資料として観光ガイドブック「くま本」及び、自主学習コース作成ツールを配布

海外からの誘致促進

(1) インバウンド受入体制の充実

- ★視認性の高い多言語パンフレット作成
 - ⇒ 昨年度に実施したMAP(日本語・その他外国語)の表紙の統一化に引き続き、地図及び案内内容を統一
 - ⇒ サービスを平準化し、海外のお客様から選びやすいように変更
 - ⇒ 併せて、熊本城特別公開第2弾、第3弾に対応した内容に更新

- ★周遊アプリの導入
 - ⇒ 今年度に導入した周遊アプリ「Visit KUMAMOTO TOURIST PASS」を英語・中国語(繁体字)・韓国語対応にすることで、熊本市観光の利便性を高める。

(2) インバウンド需要回復に向けた取り組み

- ★バンコク日本博2020への参加
 - ⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響により、海外の旅行博や商談会への参加などインバウンド誘致活動が難しい中、今後の誘致活動の再開や、新しい生活様式に則した旅行に対するニーズ等の情報収集を行うため、「バンコク日本博2020 ONLINE」に市観光政策課及び誘致戦略課と参加

- ★熊本の歴史と伝統文化を活用した英語圏からの旅行者向けコンテンツ造成の検討会参加
 - ⇒ 新型コロナウイルス感染症収束後のインバウンド需要回復を見据え、各種専門家と共に市観光政策課が実施するコンテンツの検討会(全4回)に参加

観光資源の活性化

(1) 「まち咲き案内人」改め「くまもと体験プログラム」の実施

- ⇒「まち咲き案内人」として10年間実施してきたが、観光客によりわかりやすい内容とするため、パンフレットの名称を「くまもと体験プログラム」に改め、内容を整理して実施。
- ★41プログラム設定

(2) 熊本城以外の観光素材の掘り起こし

- ★観光タクシー運行事業
昨年度からNHK大河ドラマ「麒麟がくる」に併せた新コースを追加し、3コースで実施。観光客のニーズはあるが交通アクセスが不便な地域をつなぐ事業として今年度も実施。
- ①宮本武蔵ゆかりの地コース
 - ②田原坂・西南戦争跡ゆかりの地コース
 - ③細川ガラシャゆかりの地コース
- ★熊本県が実施する「くまもと観光地域応援社」モデル事業に採択
昨年度採択事業において作成した「熊本城おもてなし武将隊音声ガイド 武士が案内仕る」に続き、水前寺成趣園内を武将隊の声でガイドする商品を作成。
(2/22より販売開始)

(3) 熊本城及び水前寺成趣園をつなぐ観光客滞在時間延長の取り組み

- ⇒観光庁が実施する「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成 実証事業」に採択。
熊本市の2大観光地である熊本城及び水前寺成趣園については、震災前と比較し入園者数が大きく落ち込んでいるため、改めて観光資源として磨き上げると共に、新しい生活様式における観光の在り方を創造。

(4) 地域に密着した活動の支援・協力

- ★水前寺活性化プロジェクトへの参加
実施日 毎月第2水曜日開催
- ★植木温泉観光旅館組合例会への参加
実施日 毎月初旬開催
- ★水前寺藻器堀川清掃ボランティア
実施日 8/1
- ★「城あかり」開催に伴う協力
実施日 11/20-12/6
- ★旧細川刑部邸紅葉特別公開に伴う協力
実施日 11/20-12/6
期間中臨時シャトルバスを運行
- ★熊本歴史文化顕彰会 活動紀行本「くまもと歴史・文化浪漫の旅」広告協賛
発刊日 令和3年1月
- ★水前寺こいあかり 準備及び実施に伴う協力
実施日 2/27
- ★水前寺まつり開催に伴う協力
実施日 中止 実行委員会参加 協賛金交付

新型コロナウイルス感染症
拡大防止のため開催中止

観光資源の活性化

(5) 交流人口の増加に向けた取組み（協会主催及び共催行事）

- ★「城あかり」への協力
- ★紅葉臨時バスの運行
- ★「旧細川刑部邸紅葉ライトアップ」の協力
- ★「熊本県立美術館夜間開館」の協力
- ★「博物館サタデーナイトミュージアム」の協力
- ★「戦国パーク 武士の魂-mononofu no chikara-2021」の開催

おもてなし・受入体制の充実

(1) 観光ボランティアガイドとの連携強化

- ★コロナ禍における安定的運営支援
よかとこ案内人の会がコロナ禍におけるイヤホンガイドを実施するための経費や熊本城における申請等を支援。併せて、毎月の理事会に参加し、経営安定化のための新たな事業企画等を支援
- ★積極的な外部の研修・視察・取材への対応
外部から依頼があった際に、よかとこ案内人の会のベテランガイドを紹介・対応。おもてなしスキルの向上や、熊本市のPRを行った。
- ★観光ボランティアガイド案内人数
- ★観光関連NPO団体の活動実績
 - UDくまもと（代表 矢ヶ部 孝志）
⇒ 視聴覚障がい者・車いす利用者等、遠方への旅行にハードルがある方へのおもてなしの向上を図る
 - 春日人おもてやん（代表 西春 里美）
⇒ JR熊本駅を訪れた観光客に対し、最初の窓口として周辺施設や熊本市内の観光案内を行う

(2) 観光案内所の運営

- ★熊本市内観光案内所2ヶ所の運営を熊本市から受託
- ★ホテルスタッフスキルアップ研修
宿泊施設スタッフとコンベンション協会の互いの連携を図りながら観光案内の実践的なスキルアップを図るため、宿泊施設より派遣職員の受け入れを行いました。

おもてなし・受入体制の充実

(3) 二の丸お休み処・本丸お休み処の運営

★ 6月 本丸お休み処を開設 ⇒ 来城者休憩スペースや御城印など登城記念グッズの販売

★ 熊本城災害復旧支援金「募金箱」を設置
⇒ 「復興城主」申込以外の少額支援を希望する方々のフォロー

★ 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う一時閉鎖

二の丸・本丸お休み処 2020.4/13～5/24 42日間 ※他に動植物園や博物館、観光案内所も閉鎖
2021.1/16～2/17 33日間 ※他に動植物園も閉鎖

広報・宣伝活動

(1) 観光パンフレット等の作成

★ グルメブック(1月/10,000部 3月/50,000部)

★ 熊本市ガイドマップ(10月/9,000部 12月/11,000部 3月/15,000部)

⇒ デザインを統一した日・英・繁・簡・韓・仏の市内観光地図を作成。

⇒ 総合観光案内所からの現場の声を反映し、ガイドマップから地図の部分のみを抜き刷りしたものを配布

★ 熊本市観光ガイドブック(12月/30,000部 3月/70,000部)

⇒ 昨年度末に刷新を図るため、観光政策課と協議し、熊本市において「くま本」を100,000部作成。その後の事業を協会に引き継ぎ、今年度は協会で作成。

(2) 植木市の広報活動支援

★ 閑散期の2月に開催している「くまもと春の植木市」を告知するため、ポスター及びチラシを作成

★ 協会HP、SNS等でも発信を行うとともに、協会職員も会場視察に伺うなど、積極的に支援

⇒ コロナ禍において当初の予定を変更して開催
2/1～3/11 ⇒ 2/8～3/14

(3) ネットを活用した情報発信

★ 熊本国際観光コンベンション協会オフィシャルホームページ

<https://kumamoto-icb.or.jp>

外国語ページ3ヶ国語

英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語

★ 年間アクセス数の多いページ(記事)

1位 熊本市プレミアム宿泊クーポン

2位 GoToキャンペーン

3位 熊本市観光応援チケット「くまチケ」

★ 賛助会員を対象としたメルマガの配信

旬なイベントや会員様に役立つ情報等を積極的に発信するため、毎月メルマガを配信

今年度は、新型コロナウイルス関連の情報や出捐企業・賛助会員の企業支援に繋がる情報を積極的に発信

広報・宣伝活動

(4) SNSを活用した情報発信

★「face book」での情報発信
ページ名「くまもと観光&グルメ情報」



★「facebook」英語版
ページ名「Motto Kumamoto -Travel info Kumamoto」
令和元年1月より運用開始



★「Instagram」での情報発信
ページ名「くまもと観光&グルメ情報@kumaconn」
平成29年4月より運用開始



★「Twitter」での情報発信
ページ名「熊本国際観光コンベンション協会」
令和2年4月より運用開始



(5) ラジオを活用した情報発信

★熊本シティエフエムFM791での情報発信
旬なイベントやお得な情報等を発信

(6) 機関紙の発行

①くまもと観光コンベンションニュースの発行

★2020年7月 vol. 6 Summer
【発行部数】1,000部

★2020年10月 vol. 7 Autumn
【発行部数】1,000部

★2020年12月 Vol. 8 Winter
【発行部数】1,000部

★2021年3月 Vol.9 Spring
【発行部数】1,000部

②協会概要パンフレットをリニューアル 【作製日】令和3年2月

新型コロナウイルス各種応援事業

(1) プレミアム付き商品券発行事業

★熊本市観光応援チケット「くまチケ」の販売

新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外からの観光客が激減し大きく落ち込んだ観光需要の早期回復を目的として熊本市内の飲食店やお土産店、ホテルレストランやタクシーなど、全127店舗でのご飲食やお買い物などに利用できるチケットを販売。

★「水前寺本気(マジ)チケ」の販売

水前寺地区の9つの団体が初めてタッグを組み、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ経済の回復と水前寺地区の活性化・にぎわい創出を目的として、加盟店で使用できるお得なチケットを販売。
当協会はチケットの販売や広報など事務局として活動。

【参加団体】水前寺参道商店会、水前寺観光商栄会、水前寺グラウンド通り商栄会、国府繁栄会、水前寺駅通り商栄会、競輪場通り商栄会、出水ふれあい通り出水商栄会、県庁正門通り繁栄会、新水前寺にぎわせ隊 9団体

(2) 各種取組み

★賛助会員への協力

テイクアウト・デリバリー実施店舗一覧を作成
新型コロナウイルス感染症の影響により売上が落ち込んだ飲食店の事業者のみなさまを応援すべく、出捐企業及び賛助会員様のうち、テイクアウト・デリバリーを実施されている店舗の一覧を作成し、協会HPやSNS及びケーブルテレビ等で紹介しました。
また、熊本市役所より弁当の注文を受け配達を行いました。

・掲載店舗数 27店舗

★おうちで楽しむ“ぬりえ”を作製

「くまもとアマビエ」のぬりえと熊本市イメージキャラクター「ひごまる」のぬりえを作製し、協会HPからダウンロードしておうちで楽しめる“ぬりえ”を作製しました。

災害復旧支援活動

令和2年7月の「令和2年7月豪雨」発生に伴い、人吉・球磨地区への支援活動を実施。

★県南豪雨寄附金「募金箱」の設置

・寄附額 952,129円(令和3年2月28現在)
・寄附先 一般社団法人 人吉温泉観光協会「人吉球磨地域の観光復興応援金として」

★観光関連災害復旧支援活動(令和2年7月豪雨)

被災した施設のがれきや汚泥の撤去、排水設備の復旧、床や壁・天井の洗浄など行いました。

・派遣場所 人吉市内
・活動期間 令和2年7月22日～12月23日(毎週水曜日に職員派遣) ※植木温泉観光旅館組合も協同活動

協会収益事業

(1) 新たな商品開発

★各売店のオリジナルグッズの開発

登城記念の御城印の期間限定バージョンを販売

(2) 新たな販売場所の確保

熊本城特別公開第二弾に併せて

本丸にお休み処を設置(2020.6/1～)

(3) インターネット販売の継続と、ホームページでの名刺台紙販売

(4) GoToトラベル地域共通クーポン利用状況(店舗別)